2026 年 11 月 13 日

各　位

会 社 名 株式会社オプティマスグループ
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 山中 信哉
（コード：9268 東証スタンダード市場）
問合せ先 IR・広報ユニット長　齋藤　英之
（TEL：03-6370-9268）

金融費用（貸倒引当金繰入額）の計上に関するお知らせ

当社の連結子会社であるOptimus Group Australia Pty Ltd（以下「OPT AU」）が30%を出資する持分法適用関連会社OzCar Pty Ltd（以下「OzCar」）は、2026年10月 8 日付で公表した「持分法適用関連会社におけるVoluntary Administration手続開始に関するお知らせ」のとおり、オーストラリア連邦会社法（Corporations Act 2001）に基づくVoluntary Administration（任意管理手続。以下「VA」）へ移行しました。VA移行後、当社グループにおいても、OzCarに対して有する債権の実在性及び保全状況等について可能な限り確認を行った結果、当該債権について損失が生じた可能性が判明し、貸倒引当金繰入額を金融費用として計上することになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

１．概要

当社グループは 2019 年より OzCar と資本業務提携していましたが、同社の業績不振やガバナンス上の懸念が顕在化したことから、2026 年 5 月に提携を解消し同事業から離脱する方針を決定しました。その後、担保の処分により債権の一部回収を行い、商品車両の実在性および貸付金との対応関係の実在確認などを進めると共に、外部専門家を起用した同社の財務・事業及びコンプライアンスの状況についての確認を進めました。その調査の経過報告を踏まえ、資産の保全及び投融資等の回収最大化を図る観点から、債権者である当社は、同社を VA へ移行せしめることを決定、2026 年 10 月 8 日付で公表いたしました。同日、当社の連結子会社である OPTAU は、OzCar に対する債権者として、Voluntary Administrator（任意管理人）を選任し、VA が開始されました。VA 開始後、当社グループにおいても、同社に対して有する債権の実在性及び保全状況等について可能な限り確認を行いました。その結果、最終的な確定は今後の VA 手続によるものの、当該債権の回収可能額及び回収時期が不透明となり、損失が生じた可能性が判明し、貸倒引当金繰入額を金融費用として計上することとなりました。

２．損失見込概算額（2026 年 9 月末計上損失）

貸付金に対する貸倒引当金繰入額　　AU＄12,000,000　（約 1,353 百万円）

※日本円換算額は、2026 年 9 月末の損益計算書適用為替レート（AU$１=112.81 円）にて換算しております。

３．業績に与える影響及び今後の見通し

前連結会計年度末のOzCarに対する貸付金残高AU$37,000,000(4,060百万円)については、当中間連

結会計期間において、同社の事業継続の為に、2026年5月に不動産担保付で追加貸付AU$3,000,000を実施した後、2026年5月の提携解消方針決定を踏まえた担保の処分によりAU$12,000,000を回収しましたが、現時点で合計AU＄28,362,850(約3,117百万円※1）の貸付金及び未収利息並びに中古自動車販売に係る売掛債権を有しております。その未回収債権のうち、担保・引当金等により保全されていない部分はAU$12,362,850（約1,359百万円※1）であり、内訳は貸付金AU$12,000,000（約1,319百万円※1）と、未収利息及び売掛債権の合計AU$362,850（約39百万円※1）です。このうち貸付金については、2027年３月期中間連結会計期間において、貸倒引当金繰入額AU$12,000,000（1,353百万円※2）を、IFRS会計基準に従い金融費用として計上しております。なお、残りの貸付金AU$16,000,000（約1,758百万円※1）は、担保・引当金等により保全されております。一方、未収利息及び売掛債権については、今後開催されるVA手続における債権者集会での決定方針を踏まえ、回収状況を注視しつつ、回収の最大化に努めるとともに、状況に応じて適切に開示いたします。
また、OPT AUが保有するOzCar株式については、業績不振に伴い、2026年３月期末に減損処理済みであり、帳簿価額は０円となっているため、当該株式に係る追加の損失は発生いたしません。
なお、本件の影響を織り込み、2027年３月期通期連結業績予想を修正しております。詳細は、下記参考及び本日公表の「2027年３月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※1 日本円換算額は、2026年９月末の貸借対照表適用為替レート（AU$１=109.93円）にて換算しております。
※2 第1四半期連結累計期間に81百万円の損失を計上済みで、上記貸倒引当金繰入額に含まれており、当中間連結会計期間での追加の損失計上額は1,272百万円です。貸倒引当金繰入額の日本円換算額は、2026年９月末の損益計算書適用為替レート（AU$１=112.81円）にて換算しております。

（参考）
2027 年３月期 通期連結業績予想の修正（2026 年４月１日から 2027 年３月 31 日まで）

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的１株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	380,000	11,900	5,000	3,700	3,200	46 円 75 銭
今回発表予想(B)	410,000	11,700	2,000	1,300	1,100	16 円 07 銭
増減額(B－A)	30,000	△200	△3,000	△2,400	△2,100	－
増減率(%)	7.9%	△1.7%	△60.0%	△64.9%	△65.6%	－
(ご参考)前期実績（2026 年３月期）	315,507	9,837	4,496	2,719	2,469	36 円 16 銭

連結業績予想修正の理由
当社グループの中古自動車輸出事業では、主力市場であるニュージーランド向け及び欧州その他地域向けが大幅に伸長し、バリューチェーン全体を牽引しております。一方、オーストラリアでは

中国系自動車ブランドの市場参入拡大等により競争環境が大きく変化しております。マルチディーラーの新車事業においては、中国車ブランドの取り込みにより販売台数および売上高が拡大した一方、市場競争の激化に伴う管理費および販売促進費等の増加により収益を圧迫されております。この結果、売上高は前回予想を上回るものの、営業利益は前回予想をわずかに下回る見込みです。

また、上記のとおり、OzCarに対する貸付金AU$12,000,000（約1,319百万円※1）に損失の可能性が生じたため、2027年3月期中間連結会計期間において、貸倒引当金繰入額として全額（約1,353百万円※2）を金融費用として計上いたしました。

以上を踏まえ、2027 年 3 月期の通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。なお、当期には一過性の損失を踏まえ、投融資先に対するモニタリングならびに与信・債権管理の一層の強化に取り組んでまいります。一方、当社グループの主要事業における事業基盤および中長期的な収益力に重大な変化は生じていないと判断しております。

従い、剰余金の配当につきましては、DOE4.5%を目安とする安定配当方針に基づき、2026 年 5 月 15 日に公表した 1 株当たりの年間配当予想 18 円（中間配当 8 円、期末配当 10 円）から変更はありません。

当社グループは、世界情勢やインフレ、金利動向などのマクロ経済環境を注視しつつ、各市場の変化に機敏に対応するとともに、事業ポートフォリオの健全性の維持・向上ならびに収益性および資本効率を重視した経営を通じて企業価値の向上を図ってまいります。

以上